


事務事業名		難病患者等居宅生活支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	0:4: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目						
	施策名	1:4: 障害者福祉の推進										
	基本事業名	0:1: 自立支援の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 H18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		01	3	1	2	24		
根拠法令		大船渡市難病患者等ホームヘルプサービス事業実施要綱										
所属	部課名	生活福祉部保健福祉課										
	係名	障害福祉係	電話	27-3111								
			内線	186								
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画 (期間限定複数年度のみ)						
<p>・地域における難病患者等へ居宅で日常生活を営むことができるように、ホームヘルパーを派遣することにより、居宅での療養生活の支援及び自立と社会参加を促進し、難病患者等の福祉の推進を図る。</p> <p>・主な業務は、ホームヘルパー事業を展開している事業所との業務委託契約、対象者からの申請受理、派遣決定及び利用者負担金の納入通知、委託料の支払いなど。派遣するヘルパーの支援は、身体介護、家事援助のほか、日常生活上の相談など。</p> <p>・事業費は、委託料として支出される。</p>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
							財源内訳	都道府県支出金				
								地方債				
								その他				
								一般財源				
						事業費計 (A)					0	
						人件費	正規職員従事人数					
							延べ業務時間					
							人件費計 (B)					0
							トータルコスト(A) + (B)					0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)	前年度実績 (前年度に行った主な活動)	名称	単位
活動実績なし	活動実績なし	ア 申請件数	件
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)	今年度計画 (今年度に計画している主な活動)	イ	
居宅介護を必要とする者からの申請を受け、要件を調査し派遣決定手続きを行う。毎月の派遣実績を事業所より報告を受け、利用者に対し負担金の納入を通知する。	居宅介護を必要とする者からの申請を受け、要件を調査し派遣決定手続きを行う。毎月の派遣実績を事業所より報告を受け、利用者に対し負担金の納入を通知する。	ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
在宅の難病患者 (厚生労働省の調査研究対象となる特定疾患の患者)	在宅の難病患者 (厚生労働省の調査研究対象となる特定疾患の患者)	名称	単位
		カ 特定疾患の患者数	人
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	キ	
ホームヘルパーの派遣により、在宅生活で暮らしやすい環境を整える。	ホームヘルパーの派遣により、在宅生活で暮らしやすい環境を整える。	ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)	結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)	成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
日常生活を暮らしやすくしてもらう。	日常生活を暮らしやすくしてもらう。	名称	単位
		サ 決定件数	件
		シ 1人あたり利用額	円
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		0	0	0	289	289
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		0	0	0	97	97
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	386	386
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間		3	3	3	3	3
		人件費計 (B)	千円	0	12	12	12	12	12
		トータルコスト(A) + (B)	千円	0	12	12	12	398	398
活動指標	ア	件	-	0	0	0	1	1	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	人	-	253	260	273	260	260	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	件	-	0	0	0	1	1	
	シ	円	-	0	0	0	386,000	386,000	
	ス								

事務事業ID	1331	事務事業名	難病患者等居宅生活支援事業
--------	------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 身体障害者に該当しない難病患者の支援事業として、平成18年度より事業開始した。 本年度は、利用を検討していた患者1名が、身体障害者手帳を取得したことから、本事業の利用者はなし。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 事業実施後の大きな変化は特になし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] → 難病患者へホームヘルプを派遣することは、自立した日常生活を営むこととなり、有意義な支援となる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] → 他の福祉制度と同様、行政が実施主体となって行うべき事業である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] → 障害者施策や介護保険制度などで対応できない者への支援事業であるため、対象・意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] → 本年度に開始した事業であるため、他の行政機関や医療機関、市民への周知が必要である。 患者を把握している保健所からの情報提供など連絡を取り合っていく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] → 他事業での支援が出来ない者を対象としているため、事業廃止が直ちに成果に影響を及ぼす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] → 難病患者の認定は保健所を運営している県である。市で、直接患者を把握できないために、綿密な連携により対象者の把握に努める必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] →
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 居宅介護のサービス単価は国の基準で定められており、その基準に基づいて事業費を計算している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] → 担当者1名での対応で、他の業務と平行して実施しており削減の余地は無い。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] → 国の通知に基づき利用者負担額を設定している。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 患者の受給者証を発行している保健所と連携を取り、対象者の把握に努めていきたい。保健所で患者の受給者証の更新手続を行っているのその際に周知していただくよう依頼する。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 現状を維持することにより、事業の実効性を高める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい  <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)  <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある  <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持          事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 難病の患者を抱える家族の支援に欠くことができない事業であり、今後も引き続き実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------